

1日目

6月20日(火)	8:45	9:15	9:40	10:20	10:30	12:00	13:00	15:50	16:00	17:00	
	両コース共通										
受付	開講式・オリエンテーション	<b>施設説明</b> 「外国人児童生徒等に対する文部科学省の施策について」	休憩	<b>講義1</b> 「外国人児童生徒等教育の現状と課題」	◎目的：学校現場における外国人児童生徒等の受入れ状況や指導体制について学び、外国人児童生徒等の生活及び学習上の課題等を社会的、文化的、心理的側面から理解し、指導や支援の在り方について学ぶ。	昼食・休憩	<b>講義2・事例協議1</b> 「学校における日本語教育プログラム～個別の指導計画を立てるために～」	◎目的：学校で実施されている日本語プログラムについて知り、「特別の教育課程」の導入で必要となる「個別の指導計画」の立て方を学び、小中学校の事例をもとに検討する。	休憩	<b>班別演習1</b> 「情報交換による課題の共有」	◎目的：班別に情報交換を行うことで、外国人児童生徒等教育の課題の明確化、共有化を図るとともに、本研修での目的を明確にする。

2日目

6月21日(水)	8:30	9:20	9:35	11:50	12:50	16:30	16:45		
	管理者用コース								
	<b>講義3</b> 『特別の教育課程』を踏まえた指導・支援体制づくりの課題と可能性	◎目的：「特別の教育課程」の導入で変わるこれからの体制整備とその実際について学ぶ。	休憩	<b>事例協議2</b> 「～指導・支援体制における連携と協働～外国人児童生徒等教育の先進的な取組」	◎目的：外国人児童生徒等の受入れについて先進的な地域の取組の理解を深める。	昼食・休憩	<b>班別演習2</b> 「外国人児童生徒等の受入れ体制における課題解決の検討」	◎目的：外国人児童生徒等の受入れ体制について情報を共有し、今後の課題解決への糸口を探る。	各ユニットで課題解決の方向性の共有
日本語指導者用コース									
<b>実践先進校視察</b> Aコース（四日市立笹川東小学校） 8:30 四日市駅（集合）  Bコース（三重県立飯野高等学校） 8:30 白子駅（集合）  Cコース（初期適応支援教室「いっぽ」） 8:30 松阪駅（集合）	◎目的：三重県内の外国人児童生徒教育に係る実践先進校や初期適応支援教室において実施されている、JSLカリキュラムを活用した授業や日本語初期指導を参観し、地域の実態に応じた取組や具体的な指導等について、フィールドワークを活用した研修をとおして学ぶ機会とする。	情報共有	昼食・休憩	<b>講義4</b> 「外国人児童生徒等のためのJSL対話型アセスメントDLA～日本語能力の評価の在り方～」	◎目的：文部科学省開発の「JSL対話型アセスメント」の考え方とその日本語測定方法の概要を知り、日本語指導の内容や方法の決定への生かし方について学ぶ。	休憩	<b>班別演習3</b> 「日本語能力測定方法の演習」	◎目的：DLA（日本語能力測定方法）について、実際に体験しながら理解を深める。	休憩

	8:30	10:30	10:45	12:00	13:00	17:00
	初期指導プログラム [講義・演習]					
	<b>講義</b> 「日本語初期指導段階の日本語プログラムと授業づくり」	休憩	<b>演習</b> 「日本語初期指導の活動計画の実践」	休憩 昼食	休憩	各ユニットでプログラム内容の共有
	◎目的：来日直後の外国人児童 生徒等に対する初期段階の日本語プログラム「サバイバル日本語」「日本語基礎（文字表記・語彙・文型等）」の内容と指導方法について知り、事例をもとに授業計画の立て方、授業運営上の留意点について学ぶ。		◎目的：日本語初期指導のプログラム「サバイバル日本語」「日本語基礎（語彙・文型）」の学習指導計画を作成することを通して、初期段階の日本語指導について理解を深め、授業を実践する力を高める。			
	中期・後期指導プログラム [講義・演習]					
	<b>講義</b> 「日本語中期・後期指導段階の日本語プログラムと授業づくり」	休憩	<b>演習</b> 「日本語中期・後期指導（主に読む力、書く力を高める指導）の実践」	休憩 昼食	休憩	各ユニットでプログラム内容の共有
	◎目的：日常会話ができる児童生徒を対象とした「読む力・書く力」を高めるための日本語プログラムの内容と指導方法について知り、事例をもとに授業の立て方、授業運営上の留意点について学ぶ。		◎目的：日本語の「読む」「書く」技能を中心にした活動の学習指導計画を作成し、中期・後期段階の日本語指導についての理解を深め、授業を実践する力を高める。			
	教科指導実践プログラム [講義・演習]					
	<b>講義</b> 「JSLカリキュラムの授業づくり」	休憩	<b>演習</b> 「JSLカリキュラムの実践」	休憩 昼食	休憩	各ユニットでプログラム内容の共有
	◎目的：日常会話ができる児童生徒を対象とした「JSLカリキュラム（教科と日本語の統合型の学習プログラム）」の内容と方法について知り、事例をもとに指導計画の立て方、授業運営上の留意点について学ぶ。		◎目的：JSLカリキュラムの学習指導計画を作成し、教科と日本語を統合した授業についての理解を深め、授業を実践する力を高める。			
6月22日(木)						

4日目

		8:30	12:00	13:00	14:45	15:00
6 月 23 日 (金)	3 プログラム共通					
	<p><b>全体発表・協議</b> 「日本語指導の実践～全体発表・協議～」</p>	休 憩		休 憩 ・ 昼 食	<p><b>講義5</b> 「外国人児童生徒等教育を推進するリーダーとして～研修成果の活用に向けて～」</p>	各ユニットでプログラム内容の共有
	<p>◎目的：各プログラムの代表班の学習指導計画についての発表をもとに、子供たちの言語習得・認知発達・社会的等の側面から、日本語指導の内容と方法についての理解を更に深める。</p>				<p>◎目的：日本語指導に関する研修成果を活用するための方策について理解を深める。</p>	